令和６年度（2024年度）交付

市民企画事業補助金

成果報告書

八王子市

令和７年（2025 年）　８月

あなたのみちを、
あるけるまち。
八王子

目　次

１　市民企画事業補助金の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

２　事業成果報告等の経過 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

３　交付事業一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

４　事業成果報告（成果報告書・収支決算書） ・・・・・・・・・・・・・・ 4

（１）ヨーヨー、けん玉、コマの体験による子どもたちのソーシャルスキルの向上 5

（２）田んぼで遊ぼう！子どもの遊び場作り ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

（３）あなたが選ぶ「八王子の名山」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

（４）地域の栄養支援活動(健康支援配食サービス、簡単料理教室、健康測定会） 17

（５）八王子保活カフェ（先輩パパ・ママによる保育園探し＆復職準備の情報提供）
対面＆オンライン配信のハイブリッド開催 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

（６）Neuro-Diver City 八王子:学習障害を持った子供の親たちの地域連携を目指す 25

（７）インクルーシブ八王子　心理支援と地域連携を推進する事業 ・・・・・・ 29

（８）かぷかぷ山のようちえん「八王子くわっぱ」～0 歳からみんなで外遊び
・自然遊びしようの会～ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

（９）はちおうじ市民健康大学－高齢者の健康増進・産後ケア－ ・・・・・・・ 37

(10) みんなが本をたのしむあの手この手 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41

５　交付団体連絡先一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45

本書では、各団体の事業成果報告及びそれに対する自己評価について、原則として、団体から提出された原稿をそのまま掲載しています。

1　市民企画事業補助金の概要

(1)　市民企画事業補助金とは

市民企画事業補助金は、市内で活動する非営利団体が、地域の課題の解決や、よりよい市民生活の実現のために、自ら企画立案し実施する公益的な事業について、市がその経費の一部を補助するものです。この補助金が有効に活用されるよう、補助対象事業は公募とし、厳正な審査を経て決定します。

(2)　補助の内容

補助対象事業は、以下の３部門に分けて募集し、決定します。応募することができるのはＡ活動支援部門、Ｂ事業実施部門、Ｃ事業連携部門、合わせて１団体１事業です。

	Ａ　活動支援部門	Ｂ　事業実施部門	Ｃ　事業連携部門
内　　容	既に公益的な活動に取り組んでいるが、活動基盤が整っていない団体や、これから公益的な活動に取り組もうとする団体の事業に要する経費を補助します。	活動基盤が一定程度整っている市民活動団体が、自立運営を目標に企画提案する事業や、さらなる事業の発展を見込むことができる事業の経費の一部を補助します。	既に主たる事業で自立運営をしている市民活動団体が、他の団体（活動分野が異なる団体※）と協力・連携することで、さらなる事業の発展を見込むことができる事業の実施経費の一部を補助します。
補助金額	必要な経費の１０分の１０ (千円未満切り捨て、**上限 10 万円**)	必要な経費の２分の１以内 (千円未満切り捨て、**上限 50 万円**)	必要な経費の３分の２以内 (千円未満切り捨て、**上限 50 万円**)
計画段階の事業費	５万円以上	１０万円以上	
補助回数	同一団体２回まで	同一区分における、同一事業に対して３回まで	

※　活動分野が異なる団体との連携とは、例えば、子育て支援団体と農業支援団体など、異なる分野の団体が互いの強みを活かして連携し、新たな課題に取り組む事業や、各団体の活動内容が深化・成長する事業を想定しています。詳細につきましては、協働推進課までお問い合わせください。

(3)　補助事業の採択

補助対象事業の審査は、事務局（協働推進課）による応募書類の確認、市の担当課及び事務局による書類審査を行う予備評価、市民企画事業補助金申請事業評価会議による評価を基に行います。

また、応募団体自ら事業の説明を行う「公開プレゼンテーション（A 活動支援部門を除く）』や、公開プレゼンテーションでの市民からの意見、継続事業については前年度事業の進捗状況などを参考にします。

項目は下表のとおりです。

区分	Ａ　活動支援部門	Ｂ　事業実施部門	Ｃ　事業連携部門
担当課による評価	１．公益性 ２．期待度	１．政策合致性 ２．八王子への貢献度 ３．計画性 ４．自立性	１．政策合致性 ２．八王子への貢献度 ３．継続性 ４．発展性
評価会議による評価	１．公益性 ２．期待度 ３．補助金交付の必要性	１．公益性 ２．計画性 ３．ニーズの高さ ４．創意工夫 ５．補助金交付の必要性	１．公益性 ２．計画性 ３．相乗効果 ４．発展・継続性 ５．補助金交付の必要性

※　この概要は令和 6 年度（2024 年度）交付対象事業についてのものです。最新情報については、市のホームページをご覧ください。

＜市民企画事業補助金のホームページアドレス＞

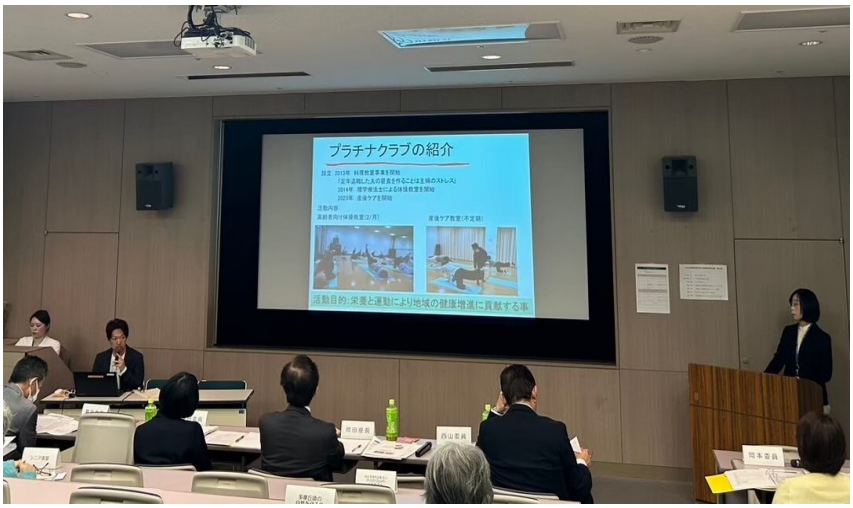
https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/shimin/001/003/index.html

補助金の概要

2 事業成果報告等の経過

〈1〉 公開プレゼンテーション

■ 日　　時　令和 6 年（2024 年）4 月 6 日（土）　　12：30～16：00
■ 場　　所　生涯学習センター（クリエイトホール）11 階　視聴覚室
■ 参加団体　7 団体
■ 審査の一環として、B 事業実施部門に応募した全ての団体が評価会議委員と一般市民の方々の前でプレゼンテーションを行いました。



〈2〉 成果報告会

■ 日　　時　令和 7 年（2025 年）6 月 29 日（日）　　13：00～16：00
■ 場　　所　生涯学習センター（クリエイトホール）11 階　視聴覚室
■ 参加団体　10 団体
■ 令和 6 年度（2024 年度）に補助金を受け実施した事業について、評価会議委員と一般市民の方々の前で、成果報告を行いました。

3 交付事業一覧

（単位　円）

区分	回数	事　業　名	補助対象事業費	補助金交付額	補助金確定額
A活動支援部門	新	ヨーヨー、けん玉、コマの体験による子どもたちのソーシャルスキルの向上	138,197	100,000	100,000
	新	田んぼで遊ぼう！子どもの遊び場作り	91,547	100,000	91,000
	新	あなたが選ぶ「八王子の名山」	171,392	100,000	100,000
	新	地域の栄養支援活動（健康支援配食サービス、簡単料理教室、健康測定会）	90,614	70,000	70,000
	新	八王子保活カフェ（先輩パパ・ママによる保育園探し＆復職準備の情報提供）対面＆オンライン配信のハイブリッド開催	100,876	100,000	100,000
	新	Neuro-DiverCityハ王子：学習障害を持った子供の親たちの地域連携を目指す	102,753	100,000	100,000
	②	インクルーシブハ王子　心理支援と地域連携を推進する事業	181,537	100,000	100,000
	小計		876,916	670,000	661,000
	新	かぷかぷ山のようちえん「八王子くわっぱ」～0歳からみんなで外遊び・自然遊びしようの会～	192,231	144,000	96,000
	②	はちおうじ市民健康大学ー高齢者の健康増進・産後ケアー	188,871	160,000	94,000
	②	みんなが本をたのしむあの手この手	112,349	50,000	50,000
	小計		493,451	354,000	240,000
総計			1,370,367	1,024,000	901,000

４　事業成果報告

（成果報告書・収支決算書）

令和６年度（2024 年度）　市民企画事業補助金　交付事業成果報告書

事　業　名	ヨーヨー、けん玉、コマの体験による子どもたちのソーシャルスキルの向上		
団　体　名	八王子ヨーヨーの会		
事　業　費	138,197 円	補 助 金 額	100,000 円

事業の目的・内容	目的 友達や大人から褒められることで自己肯定感の向上が期待でき、健全な心の育成に繋がる効果があると考えられます。そのきっかけとして本会独自の認定制度も実施しており、子どもたちのやる気の向上に繋がります。 子ども同士でも習熟度の高い子が、もう一歩の子に教えることも想定されます。 またヨーヨー、けん玉、コマの体験中、参加者間でスキルを教える過程で年齢や性別関係なくどの層とでも自然発生的にコミュニケーションが生まれ、孤立を防げると考えています。
	内容 定期的にヨーヨー、けん玉、コマの体験会を通じて子どもたちの孤立を防ぎ、コミュニケーション能力の向上や社会対応力の向上

事業の活動実績	【体験･交流会】　会場:子安市民センター3F 会議室　参加者:計 245 名 ヨーヨー、けん玉、コマの体験･交流会を月 1 回計 12 回行いました。 4 月 19 名　5 月 20 名　6 月 23 名　7 月 20 名　8 月 23 名　9 月 25 名 10 月 28 名　11 月 12 名　12 月 20 名　1 月 15 名　2 月 20 名　3 月 20 名 八王子ヨーヨーの会独自の認定トリック制度の導入、景品のアクリルキーホルダー配布など、参加者のモチベーションを高める工夫も行ってきました。 小門町のけん玉クラブ「OKD802」の方の参加もありました。 【八王子子どもまつり 2024 】 2024 年 11 月 10 日(日)　会場:陵南公園野球場 参加者:約 100 名 当日は雨予報だったのでお客さんが来るか不安でしたが、子どもたちを中心にヨーヨーやけん玉、コマを体験していってくれました！ 13 時 15 分から八ヨー会キッズによるパフォーマンスもありました。 その他 NPO フェスティバル 2024 や共励こども園のイベント、四小学童のイベント、更には恩方第二小学校から依頼され、1 年生と 2 年生を対象にした昔遊びの授業にてけん玉を教えに行く等幅広く活動しました。 八王子ヨーヨーの会では、ヨーヨー・けん玉・コマなどのスキルトイを通して、子どもたちが「楽しく」「自然と」成長できる場を提供してきました。体験会や交流会に継続して参加する中で、子どもたちには次のような**成長の姿**が見られます。 まず、初めてヨーヨーを手に取った子どもたちは、最初は「できない…」と不安げですが、ロングスリーパーやもしかめといった基本技をひとつずつできるようになることで、「やればできる」という**自信**を身につけていきます。 そして、上達した子どもが、初めて来た子に技を教えてあげたり、「この持ち方の方がやりやすいよ！」と声をかけたりする場面も多く見られます。年齢や経験を超えて生まれる交流は、**思いやり**や**人と関わる力**を育ててくれます。 更には、検定合格や大会挑戦、オリジナルトリックの完成など、小さな「できた！」の積み重ねが、学校生活や他の活動にも良い影響を与えています。保護者の方からは「家でもヨーヨーの話をしてくれるようになった」「自信を持って新しいことに挑戦するようになった」といった声も届いています。

事業の様子または成果がわかる写真①

事業の様子または成果がわかる写真②

事業の成果・効果	【体験･交流会】 八王子ヨーヨーの会は、子安市民センターを拠点に、月１回体験・交流会を開催してきました。 ヨーヨーを中心に、けん玉、コマ、などさまざまなスキルトイを扱い、子どもから大人まで、初心者から経験者まで、幅広い参加者に親しまれる活動を続けています。 令和６年度を振り返ると毎回 20～30 名ほどの参加者が集い、子どもたちが半数以上を占める回も多くありました。初めてヨーヨーに触れる子が、ロングスリーパーやフォワードパスをクリアする達成感を味わう姿や、けん玉が得意な子がヨーヨーに挑戦したり、逆にヨーヨー経験者がコマに夢中になったりと、スキルトイ同士の自然な交流が生まれているのが特徴です。 今後も、八王子ヨーヨーの会では「できた！」の笑顔を大切にしながら、安全で自由なスキルトイの遊び場を提供し続けていきます。地域に根差した、そして誰もが楽しめる活動を目指して、さらに成長を続けてまいります。

自己評価	事業は申請どおり実施できた	①できた　2 概ねできた　3 あまりできなかった　4 ほとんどできなかった 主な理由（３、４と答えた場合のみ）				
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた （応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた）	1 できた　② 概ねできた　3 あまりできなかった　4 ほとんどできなかった 主な理由（３、４と答えた場合のみ） 子安市民センターと八王子子どもまつり 2024 のみだと 245 名でしたが、その他イベントを合わせると 400 名ほどの方と関わりました。そして今回補助金を貸出用スキルトイ購入に使いましたので、来年度以降も活用できると考えております。				
		効果を表す指標	体験者数	本年度目標値	500 名	本年度実績値	245 名
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ　② 多少の変更があった　3 大幅に変更している 主な理由（２、３と答えた場合のみ） 途中から市民センターでの活動時間を増やした為、会場利用費が変わりました。				
	その他、評価すべき点等	1 年間怪我や事故なく開催することができました。				

※　自己評価の欄は、番号に〇を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	2025 年度も引き続き体験･交流会を開催しつつ、平山ことな広場でのイベント、サガミ堂(おもちゃ屋)での体験会も引き続き行っていきます。 八王子市立第四小学校の体育館も使えることになったのでそこでも体験･交流会を開催します。 今後もはちコミねっとで更新していきます。 https://hachikomi.genki365.net/group_562/activity/

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事　業　の　名　称	ヨーヨー、けん玉、コマの体験による子どもたちのソーシャルスキルの向上	
団　　体　　名	八王子ヨーヨーの会	
項　　目	内 容 ・ 内 訳	決　算　額　（円）
収入の部		
1 市民企画事業補助金 (今回使用額)		100,000
2 事業による収入 (スキルトイ体験会)	体験会参加費1家族200円×180組(年12回)	36,000
3 団体運営費からの繰入金		2,197
4		
5		
6		
合　　計		138,197
支出の部		
1 備品代	貸出用のヨーヨー、けん玉、コマ	95,737
2 会場使用料	子安市民センター12回17,750円	17,750
3 会場保険料	レクリエーション保険 1年分 4,800円+4,610円	9,410
4 景品代	八ヨー会認定景品 アクリルキーホルダー @153円×100個	15,300
5		
6		
7		
8		
9		
10		
合　　計		138,197

※　あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
※　領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

令和６年度（2024 年度）　市民企画事業補助金　交付事業成果報告書

事　業　名	田んぼで遊ぼう！子どもの遊び場作り		
団　体　名	高尾こてんぐの会		
事　業　費	91,547 円	補 助 金 額	91,000 円

事業の目的・内容	目的 遊び場や体験教室を通して子ども達の経験機会を増加させることで子ども自身が自分の力に気付いたり、好きなことを発見し、子どもたちの可能性を高める。現在の本国では様々な遊びに制限がかかり子どもの可能性を閉ざしている。そんな中、広大な田んぼを解放し騒音を気にせず規制もなるべく無くして子どもがやりたい遊びを好きなようにできる環境を作る。 また６月から始まる米つくりを体験することで普段自分達が口にしているものの過程を知り、食文化への感謝と理解するため身をもって勉強する。
	内容 子どもたちの経験機会増加を狙いとして遊び場を提供する。 自作の滑り台や遊具その他、子どもの発想を促すような材料を置き子どもたちが自由に遊べる環境を作る。 米つくり体験を通して、土を触り風を感じ食の素晴らしさ尊さを理解する。

事業の活動実績	第一回　田んぼに水を張り泥遊び　5/18 高尾町 2440　４人 第二回　田植え体験を行う　6/15 高尾町 2440　８人 第三回　キャンプ風遊び　もるっく遊び　焚き火　ブロックでピザ窯つくり 7/14 高尾町 2440　４人 第四回　映画鑑賞プログラム　地域子ども会とのお祭りコラボ企画　8/18 高尾山口周辺３人 第五回　田んぼの藁を使いリースつくり　9/16　６人　高尾町 2440 第六回　ハロウィンをテーマに遊ぶ　山で採れたカボチャや木を組み立てるイベントを開催 9/22 3 人　高尾町 2440 第七回　多言語クラブとのコラボ　おにぎりや折り紙でフランス人と交流 10/19 16 人 高尾町 2440 第八回　クリスマスに合わせて松ぼっくりや木にペンでお絵かき　12/14　３人　高尾町 2440 第九回　お正月の風物詩　凧揚げ　広い畑で走り回る 1/11　７人　高尾町 2440 第十回　折り紙　お絵かき　土遊び　などなど 3/15 3 人　高尾町 2440

事業の様子または成果がわかる写真①

事業の様子または成果がわかる写真②

事業の成果・効果	本事業では、子どもたちにとって貴重な自然体験を提供することを目的に、田んぼでの遊びや自然に触れる機会を設けました。参加人数は当初の想定よりも少なかったものの、参加した子どもたちやその保護者からは「なかなかできない体験をさせてもらい、ありがとう」との感謝の声を多くいただきました。 実際に泥の感触を楽しんだり、生き物を観察したりすることで、子どもたちが自然への興味や関心を深める姿が見られました。また、少人数だったことで、スタッフが一人ひとりと丁寧に関わることができ、安心して楽しんでもらうことができました。さらに、参加者からは「自然の中で自由に遊べて、子どもがとても楽しんでいた」「泥だらけになりながら夢中で遊ぶ姿に感動した」といった満足度の高い声が多く寄せられました。 また、この体験が口コミで広がり、次第に多少の参加者が増えていくという良い循環も生まれました。最初は少人数でのスタートでしたが、実際に参加した保護者や子どもたちが SNS や口コミを通じて「楽しかった」「ぜひまた参加したい」といった声を広めてくれたことで、新たに興味を持った家族が参加を希望するようになりました。その結果、後半には参加者が増え、地域のつながりや交流の輪がさらに広がりました。 本事業を通じて、自然体験の重要性を再認識するとともに、地域での新たな交流やつながりも生まれました。参加者からの満足度も非常に高く、「また参加したい」「今度は友達も誘いたい」といった声も多く、次回以降の事業への期待も高まっています。今後もこうした活動を継続・発展させ、地域の子どもたちに貴重な自然体験の場を提供していきたいと考えています。

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた　2 概ねできた　(3) あまりできなかった　4 ほとんどできなかった				
		主な理由（3、4と答えた場合のみ） 計画段階と実際では異なる部分が多く基本的には計画に沿って行うようにしたが、多少のプログラム変更があった。				
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた （応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた）	1 できた　2 概ねできた　(3) あまりできなかった　4 ほとんどできなかった				
		主な理由（3、4と答えた場合のみ） 参加人数が思うように増えず、集客の難しさを痛感した				
		効果を表す指標	イベント参加者の定着率・アンケート満足と答えた割合・参加数	本年度目標値	アンケート満足度10%増加・参加者10名増加	本年度実績値	2.3人の増加あり。参加者は定着したがアンケートは上手く活用が出来なかった。
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ　(2) 多少の変更があった　3 大幅に変更している				
		主な理由（2、3と答えた場合のみ） 宣伝方法を紙からウェブに変更 物品の購入数・購入額の変更				
	その他、評価すべき点等	地域団体との協力体制が構築できた 地元子供会・みどり幼児園・学び舎みどりの木・夕焼け小焼けの会				

※　自己評価の欄は、番号に〇を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	集客力に大きな課題があったため、令和７年度より既存の団体「夕焼け小焼けの会」などと提携を結び展開していく。 田んぼで遊ぶ事業に特化して、集中して集客する。 田んぼで遊びたいと市民センター等で多く声かけをいただいたので今年の経験を生かし市民に経験を提供する。

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事業の名称	田んぼで遊ぼう！子どもの遊び場作り	
団体名	高尾こてんぐの会	
項目	内容・内訳	決算額（円）
収入の部		
1 市民企画事業補助金(今回使用額)		100,000
2 その他助成金収入		
3 事業による収入（　　）		
4 団体運営費からの繰入金		△8,453
5		
6		
合計		91,547
支出の部		
1 消耗品費	絵の具/テープ@2/マーカー/ファーストエイドキット/折り紙@2/マーカーペン/ハケ・絵の具	8,444
2 備品購入費	アルミリング/耐火煉瓦/ボンド等/モルック/プロジェクター/アウトドアワゴン/スコップ/ワンタッチテント/子供用ノコギリ/レジャーシート/スクリーン/収納ボックス/焚き火台/塩ビ防災・ノボリ等	73,448
3 印刷製本費	印刷代	650
4 通信費	通信費/web広告￥6,061　支払手数料￥304	6,365
5 保険料費	保険料	2,640
合計		91,547

※　あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
※　領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

令和６年度（2024 年度）　市民企画事業補助金　交付事業成果報告書

事　業　名	あなたが選ぶ「八王子の名山」		
団　体　名	TOKYO 八王子名山選定プロジェクト実行委員会		
事　業　費	171,392 円	補 助 金 額	100,000 円

事業の目的・内容	目的 従来、八王子で「山」として突出して有名な高尾山に登山者が集中し、オーバーツーリズムによる自然環境への悪影響など弊害も発生している。その一方で、分散のためにそれ以外の市内山域に対して足を運んで貰うには、トレイルの安全確認や情報提供などの面での環境整備が必要という課題がある。本事業では上記のような課題の解決に取り組み、高尾山以外の山域への八王子市民の注目を集め、「八王子の名山」でのレクリエーション活動を推進し、八王子市の観光面での振興を目的とする。
	内容 前年度までに、市民からの公募と当会会員の踏査に基づき選定を進めてきた「八王子の名山」の選定結果と趣旨を、本会のウェブサイト及び Facebook 公開ページ、プレスリリースやメディア取材による市民向け媒体、2024 年 8 月に本市で開催された「山の日全国大会とうきょう 2024」へのパネル出展を通じて周知・拡散する施策を実施した。また、八王子の名山ウォーキングイベントを企画、ネットなどを通じて一般の参加を募集・実施した。

事業の活動実績	・広報活動 4/25 プレスリリース、4/30 発表報告会　於: 8Beat 参加者: 8 名＋メディア 2 社 ・隠れ名山「久保山」ハイク「宇津木台の森を守る会」との共催　6/1 20 名以上の参加。 ・「山の日」全国大会パネル出展 8/11・12 観光課ブースの　於: たまメッセ　参加者:8 名 　概要：登山マップ、御山印販売、名山報告チラシとティッシュの配布 ・名山踏査山行　7/17 今熊山・古愛宕山(4 名)　9/18 豆佐嵐山・栗の木沢の頭(4 名) ・ガイドウォーキング山行(1)12/15 平山城址公園など 6 名(2)1/26 恩方山など 8 名 　(3) 2/23 景信山・小仏峠・小仏城山・高尾山（9 名） ※採択にあたり付されていた意見・要望とそれを受けて行ったこと 　「高尾山以外の『八王子の名山』の広報活動にあたり、歴史や伝承なども踏まえた活動を期待する」について、ガイドウォーキング時に、対象山域の歴史や伝承を調べ、参加者に伝えたり、久保山では地元団体代表に宇津木台と久保山付近の歴史や旧景を伺ったりした。 　「安定した活動資金の獲得と団体の自立運営を目指すこと」について、名山が反映されたマップや独自グッズの販売をイベントで行ったり、EC サイトを設置し販売した。

事業の様子または成果がわかる写真①

事業の様子または成果がわかる写真②

事業の成果・効果	【名山選定発表報告会など広報活動】 メディア取材・掲載実績：5/13Yahoo! ヘッドライン掲載、6/5 日経朝刊東京版に記事掲載、5/30 タウンニュース掲載、7 月ショッパー掲載 ・市民からの直接反響　3 件 【久保山ハイキング】 参加者の声：「こうやって、森と共に暮らしていた昔日の話や、歴史の話を聞きながら歩いていると名山を歩いているという感じがする」、「他の隠れ名山も案内してください」etc. 【「山の日」全国大会パネル出展】 チラシ約 1,000 枚、ティッシュ 250 個配布 観光課ブース立寄り約 1250 人 総売上（名山掲載マップ、御山印） 46,000 円 【ガイドウォーキング山行】目標は 4 回実行だったが、3 月の回が雨で中止のため 3 回。 【まとめ】 八王子の名山という趣旨が予想以上に注目と共感を集めた感触を持った。特に、登山詳細図への掲載のおかげもあり、ヤマレコのような登山サイトで「TOKYO 八王子名山」というタグができており、八王子名山（の制覇）が山行の目的として認識されているなど、登山界隈での拡散が明白に見られる。 一方で、当会サイトで侵入不可と明示してある一部山域に登ろうとするなど、登山ガイドそのものではない（歴史的文化的背景としての名山も含むという趣旨）という観点がこれまで十分に共有されていないという点があるので、今後の課題としたい。

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた　②概ねできた　3 あまりできなかった　4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4 と答えた場合のみ）				
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた （応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた）	1 できた　②概ねできた　3 あまりできなかった　4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4 と答えた場合のみ） 当初設定した指標にガイドウォークの行き先の一般公募（延べ 200 名）を設定したが、主に技術的理由で公募を断念 した。しかし、正式開始以前にも 3 回山行を実施し、一般市民約 20 名の参加があったことで参加者延べ人数も 40 名を超え、概ねできたと評価した。				
		効果を表す指標	ガイドウォークイベント。	本年度目標値	4 回実施 40 名参加	本年度実績値	3 回実施 23 名参加
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ　② 多少の変更があった　3 大幅に変更している 主な理由（2、3 と答えた場合のみ） 会場費に計上した分については、クリエイトホールが無料で使用できたので、使用しなかった。				
	その他、評価すべき点等	・事業収入を、活動を反映したコンテンツ販売で得ることができた。 ・当会の趣旨に共鳴し今後の活動への参加を希望する参加者が複数現れた。				

※　自己評価の欄は、番号に〇を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	本事業年度における目標だった、八王子名山の選定結果と内容の周知と、ガイドウォーキングというアクティビティ実施という目的がほぼ達成できたことを踏まえ、今後も地道に TOKYO 八王子名山の普及活動とガイドウォーキングの定例実施を行っていきたい。また、要望が多い、TOKYO 八王子名山の全体の詳細マップを含めたガイドブックの作成を今後の目標とし、市内の出版関係者とも企画を練るなど実現に向けて動きたい。

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事　業　の　名　称		あなたが選ぶ「八王子の名山」	
団　　体　　名		TOKYO八王子名山選定プロジェクト実行委員会	
項　　目		内 容 ・ 内 訳	決　算　額　（円）
収入の部			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)		100,000
2	その他助成金収入		0
3	事業による収入 （　　）		0
4	団体運営費からの繰入金		41,392
5	広告収入・寄付	寄付金　30,000円×1名	30,000
合　　計			171,392
支出の部			
1	消耗品費	展示会用B4フォトフレーム（2,299円） POPパネル（6,758円）・スタンド（3,828円）	12,885
2	印刷製本費	A1ポスター印刷（9,460円）	9,460
3	委託費	ホームページ更新料（50,000円） サーバー更新料（15,840円）・ドメイン更新料（9,983円） チラシデザイン料（20,000円）・チラシ印刷代（11,603円）	127,924
4	会場等使用料		0
5	謝礼・報酬	交通費相当額謝礼　@500×29名（14,500円）	14,500
6	通信費		0
7	会議費		0
8	イベント保険料		0
9	広告宣伝費	ポケットティッシュ　500個（6,623円）	6,623
10			
合　　計			171,392

※　あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
※　領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

令和６年度（2024 年度）　市民企画事業補助金　交付事業成果報告書

事　業　名	地域の栄養支援活動 （健康支援配食サービス、簡単料理教室、健康測定会）		
団　体　名	南大沢認定栄養ケア・ステーション		
事　業　費	90,614 円	補 助 金 額	70,000 円

事業の目的・内容	目的 地域の栄養支援活動事業は、栄養ケア・ステーションを管理栄養士、栄養士、栄養業務の地域拠点とすることによって、管理栄養士、栄養士と地域住民の双方向の結びつきを強化し、地域住民が栄養ケアの支援と指導を受けて、南大沢保健福祉センター、高齢者あんしん相談センター南大沢と連携し、介護予防・健康づくりの推進、地域包括ケアシステムの推進に努めることを目的とする。
	内容 1.体力測定会とフレイル予防講座:南大沢保健福祉センターと高齢者あんしん相談センターの要望を受けて実施した。 2.健康支援配食サービス（健康ランチの会）:国の施策の動向を踏まえ、地域高齢者等の食生活を支援する手段の１つとして実施した 3.簡単料理教室:短時間で栄養のバランスのとれた食事内容のメニュー提案と調理技術の習得を目的として実施した。

事業の活動実績	1.　体力測定とフレイル予防講座（南大沢保健福祉センター出張健康講座）参加者２０名 日時　2024 年　6 月　21 日（金曜日）10：00～11：30　N―city 東自治会館 2.　健康ランチの会 日時　　2024 年　12 月 4 日　12:00～14：00　N―city 東自治会館　参加者１２名 3.　簡単料理教室 ①　楽しいクリスマス料理：2024 年 12 月 21 日　10：00～14：00 松木中学校調理実習室　参加者　16 名 ②　健康・簡単料理教室：2025 年 2 月 27 日 11：00～14：00 生涯学習センター南大沢分館料理講習室　　参加者 17 名 ③　高齢男性料理教室：2025 年 3 月 25 日　11：00～14：00 生涯学習センター南大沢分館料理講習室　　参加者 12 名

事業の様子または成果がわかる写真①

事業の様子または成果がわかる写真②

健康簡単料理教室

事業の成果・効果	① 健康測定会とフレイル予防講座 体力測定（握力、歩行速度、柔軟性、バランス、血管年齢）を実施し、参加者が自身の体力を確認する。保健師、管理栄養士からフレイル予防についての講話を聴くことにより、健康づくりのヒントが得られた。参加者 20 名のうち、約半数の 9 名がプレフレイル、1 名がフレイルであった。参加者は自身の体力状況が理解できた。 ②健康支援配食サービス：健康ランチの会 低栄養対策をはじめとする高齢者の食生活改善は、緊急の課題である。健康ランチの会では、八王子エリア配食事業社の中から 2 社を選定し年 1 回試食会を実施した。 このことにより、栄養に対する意識付けができた。 ③料理教室 ➢ 中学生対象の料理教室 食育の推進、論理的思考力の育成、五感の発達、コミュニケーション能力の向上、創造力と柔軟性の育成などの効果により、中学生が料理教室に参加することは、食に関する知識や技術の習得だけでなく、総合的な人間力の向上に役立った。 ➢ 高齢者対象の料理教室 心身の健康増進、自信と自尊感情の向上、コミュニケーションの促進、食生活の改善、生活の質（QOL）の向上、などの効果から、高齢者向けの料理教室は、健康維持や社会参加の促進、そして豊かな生活の実現に寄与できた。

自己評価	事業は申請どおり実施できた	(1) できた　2 概ねできた　3 あまりできなかった　4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4 と答えた場合のみ）				
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた （応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた）	(1) できた　2 概ねできた　3 あまりできなかった　4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4 と答えた場合のみ）				
		効果を表す指標	イベント数 イベント参加人数	本年度目標値	回数 5 件 人数 50 名	本年度実績値	回数 5 件 人数 77 名
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	(1) ほとんど同じ　2 多少の変更があった　3 大幅に変更している 主な理由（2、3 と答えた場合のみ）				
	その他、評価すべき点等	3 回開催した料理教室のアンケートによる満足度は 100%であった。 一方健康ランチの会は４４%、体力測定会とフレイル予防講座は 55%と低値であったため、来年度に向けて検討する余地があった。				

※ 自己評価の欄は、番号に〇を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	料理教室は 1 回増やし年 4 回実施する。新たに松木・長池コミユティスクール寺子屋と連携し、対象を小学生・中学生にも広げて、親子で参加できる企画を検討している。八王子市の統計では独居後期高齢者は令和 3 年時点で全後期高齢者に対し 13.7%で、今後増加が推測される。健康相談会、ランチ会など通いの場を増やし、高齢者の社会参加に寄与して行きたいと考えている。

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事　業　の　名　称		地域の栄養支援活動 （健康支援配食サービス、簡単料理教室、健康測定会）	
団　　体　　名		南大沢認定栄養ケア・ステーション	
項　　目		内 容 ・ 内 訳	決　算　額　（円）
収入の部			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)		70,000
2	その他助成金収入		
3	事業による収入 （参加会費　）	2024/12/25　　@1人300円×16	4,800
4	事業による収入 （参加会費　）	2025/2/28　　@1人500円×17	8,500
5	事業による収入 （参加会費　）	2025/3/25　　@1人500円×14	7,000
6	団体運営費からの繰入れ金		314
合　　計			90,614
支出の部			
1	消耗品費	① 布巾、キッチンペーパー、ラッ・ホイル類、消毒用アルコール等（手指、器具等）、洗剤類、調理用手袋他 ￥ 11,727 ②料理教室材料費　￥ 39,452	51,179
2	印刷製本費	ポスターおよび資料等コピー代 、八王子市市民活動支援センター、生涯学習センター南大沢分館	5,018
3	会場等使用料	生涯学習センター南大沢分館（調理実習室（午前、午後使用）@3150円×2回　N-city自治会館@100円／時間×10時間	7,300
4	通信費	振り込み費用（健康ランチの会、料理教室） @203円×4　消耗品送料	1,362
5	イベント保険	33円／人×85人	2,805
6	交通費	別添明細書のとおり	22,950
合　　計			90,614

※　あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
※　領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

令和６年度（2024 年度）　市民企画事業補助金　交付事業成果報告書

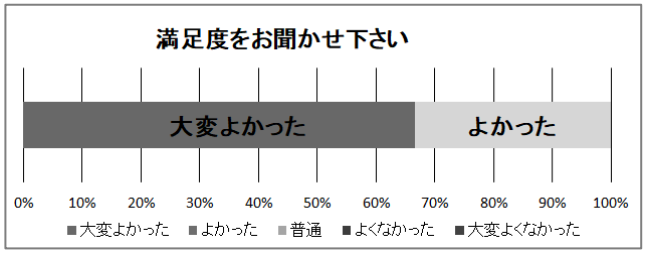
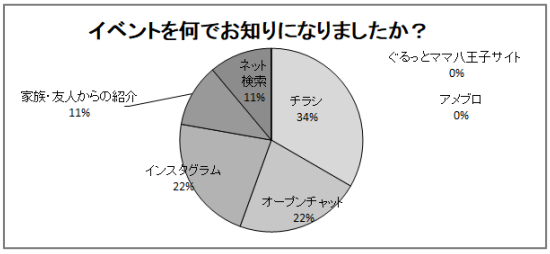
事　業　名	八王子保活カフェ（先輩パパ・ママによる保育園探し＆復職準備の情報提供） 対面＆オンライン配信のハイブリッド開催		
団　体　名	kosodate802(コソダテハチマルニ)		
事　業　費	100,876 円	補 助 金 額	100,000 円

事業の目的・内容	目的 育休中・仕事探しをしている親にとって、保育園の入園は非常に重要なことであるが、保育園入園のために、いつまでに何をしたら良いかは、インターネットで検索したり、市役所等に話を聞きにいかないと中々情報を得ることが出来ない。また、市役所でもらう「保育園入園のしおり」はページ数も多く読み解くのが難しいという声も多い。 そこで、保育園探しに有用な情報を提供する他、復職後の両立アドバイスを行うことによって、子育てと仕事の両立を安心して行えるようなイベントを行いたいと考え実施した。
	内容 「保活カフェ」とは、八王子市内で保育園探しを経験したママ・パパが、これから保活（保育園探し）をするママ・パパに向けて、保活とは、いつ・何を・どのようにやるのか、仕事復帰後にどのように仕事と家事・育児を両立させているのか等の経験談を話すイベントである。これまで、児童館等で行っていたが、より多くの人に参加してもらうために、今年度は初めて対面とオンラインのハイブリッド開催を実施した。

事業の活動実績	日時：2024 年 8 月 25 日(日)14:00～15:30 当初 10 月開催予定でしたが、11 月から保育園申込みが始まるため、もう少し早い時期の方が準備しやすいと考え 8 月に時期を変更しました。 場所：学園都市センター八王子第一セミナー室 イベント名：八王子保活カフェ 2024 イベント内容： １、kosodate802 活動紹介、先輩ママ紹介、保活状況を聞く簡単なアンケート（約 15 分） ２、「保活ってどうやったらいいの？」（約 45 分）1 年間のスケジュール、認可/認証の違い、少しでも入園確率を上げるために出来ること ３、先輩ママへの質疑・まとめ（約 20 分） 会場では、赤ちゃん連れの家庭向けにござ席の用意を行ったり、壁に過去の保活アンケート結果等を掲示する工夫も行いました。 ※写真は当日イベント（会場+オンライン配信）の様子（撮影許可を得ています。）

事業の様子または成果がわかる写真①

事業の様子または成果がわかる写真②

事業の成果・効果	参加者数：対面 13 組（25 名）＋オンライン参加 11 デバイス（合計約 40 名） アンケート結果：   参加者コメント（一部抜粋） ・友人などに保活のやり方は聞くことができても、同じ地域での経験談を聞ける機会がなかったので参加しました。経験談を踏まえながら保活のスケジュールを説明いただき、私の中でぼやっとしていたのが、ハッキリとしたイメージをもてるようになりました。次回も是非参加させていただきたいです。 ・経験者の方のお話を伺えて、より保活のイメージが沸きました。 ・八王子事情を詳しく聞けて、いろいろ参考になりました。先輩ママのお話も聞けてよかったです。 ・子供をあやしながらだったので話半分になってしまいましたが、入園者の点数が公開されたことなど知らなかったことが知れて良かったです。 ・保育園を選ぶ基準や点数のことなど、知りたいことがわかって良かったです。 ・以前企業が実施する保活セミナーに参加しましたが、それ以上に具体性があり充実した内容でとても参考になりました。先輩ママのお話も心強かったです。最後の写真撮影参加したかったのですが、集合写真撮影があると思わず…参加せず退出してしまって申し訳ありませんした…自分の住む地域でこのような会があってとても助かりました。 これまでとは異なり、八王子駅前の会場&ハイブリット開催ということで、今まで認知して貰えなかった層の方々にも来場いただくことができ、また、コメントからも有用な情報を提供することができたのではないかと考えている。

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた　2 概ねできた　3 あまりできなかった　4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4 と答えた場合のみ）				
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた （応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた）	1 できた　2 概ねできた　3 あまりできなかった　4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4 と答えた場合のみ）				
		効果を表す指標	① アンケート満足度 ② 参加者数	本年度目標値	① 90%以上 ② 50 名	本年度実績値 ① 100% ② 40 名
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ　2 多少の変更があった　3 大幅に変更している 主な理由（2、3 と答えた場合のみ） Web 広告を検討していたが、チラシの方か効果が大きいと考え、デザイン会社にチラシデザインを依頼した。				
	その他、評価すべき点等	同時開催で子育てイベントを実施した。 そこから保活カフェに当日参加してもらうことも出来た。				

※　自己評価の欄は、番号に〇を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	保活イベントに関しては引き続き、乳幼児のお母さんが多く集まる場所であり、同意が得られれば場所代がかからない「はちビバ（旧児童館）」を中心に活動を続けていきたい。保活はエリアごとの細かい情報が重要であるため、現在、中郷・北野のはちビバ２箇所で実施しているが、来年度は拠点を拡大し、浅川・みなみ野周辺を検討したいと考えている。そのため拠点を増やしても対応できるようにメンバー募集を行い活動が継続出来るよう努めていきたい。また、今回のような拡大イベントも継続し、今後も知名度を広げていきたい。 資金調達については、今年度は初めて高尾のコーヒー店（One Day Coffee Stand）とコラボでオリジナルブレンドコーヒーを作り、イベントで販売コーナーを設け売上の一部を寄付していただく形で開始した。また八王子子育てオープンチャットの登録人数が 500 名を越えたこともあり（八王子市内で 0～6 歳の子供をもつ世帯の登録がメイン）SNS 等で企業とのコラボ・宣伝等を行い、宣伝費を活動に回していくなどの模索を行っていきたい。

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事　業　の　名　称		八王子保活カフェ（先輩パパ・ママによる保育園探し＆復職準備の情報提供）対面＆オンライン配信のハイブリッド開催	
団　　体　　名		kosodate802（コソダテハチマルニ）	
項　　目		内 容 ・ 内 訳	決　算　額　（円）
収入の部			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)		100,000
2	その他助成金収入		
3	事業による収入 (　　)		
4	団体運営費からの繰入金		876
5			
6			
合　　計			100,876
支出の部			
1	印刷製本費	チラシ印刷(1000部・10000円)、デザイン料	24,920
2	委託費	オンライン発信(外部委託)	30,000
3	会場借上料・使用料	学園都市センター第1セミナー室(午後) 音響・プロジェクター使用費	10,900
4	謝礼・報酬	謝礼・報酬(交通費を含む)(1000円×7名分)	7,000
5	通信費	zoom使用料	28,056
6			
7			
8			
9			
10			
合　　計			¥100,876

※　あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
※　領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

令和６年度（2024 年度）　市民企画事業補助金　交付事業成果報告書

事　業　名	Neuro-DiverCity 八王子：学習障害を持った子供の親たちの地域連携を目指す		
団　体　名	みんなの学び流星群 from 八王子		
事　業　費	102,753 円	補 助 金 額	100,000 円

事業の目的・内容	目的 DiverCity 八王子市を目指して、学習障害（LD）を持つ子どもとその保護者が、地域社会で安心して暮らすことができる Neuro-DiverCity な社会づくりを目的とする。子どもが学習する環境づくりはもちろんのこと、保護者が身近に相談できるような相互支援の在り方を探り、ネットワーク、サポートグループづくりを目指す。LD についての勉強会や情報交換、当事者たちの LD に対する困り感についての共有、LD と思われる（診断が出ていなくても OK とする）子どもの保護者の横のつながりを広げたい。
	内容 令和６年度は学習障害（LD）のワークショップを８月、１２月、２月に３回行うことを計画している。３回ともに学習障害（LD）の疑似体験を、保護者、支援者、学校関係者、学習障害（LD）に関心のある方を対象に開催する。

事業の活動実績	【ワークショップ開催】 令和６年８月 25 日　『ワークショップⅠ』　@由井市民センターみなみ野分館（参加者：22 名） 令和６年 11 月 30 日　『ワークショップⅡ』　@由井市民センターみなみ野分館（参加者：10 名） 【つながるカフェ開催】 令和７年２月２日　『つながるカフェ 1』　@由井市民センターみなみ野分館（参加者：12 名） 令和７年３月 29 日　『つながるカフェ 2』　@由井市民センターみなみ野分館（参加者：13 名） 【流星群勉強会】令和６年４月 21 日、５月 19 日、７月 21 日、９月 16・19 日、10 月 22 日、11 月 17 日、12 月 13 日、令和７年２月 24 日、３月 15 日 【運営メンバーのミーティング】 令和６年７月 21 日、９月 16 日、10 月 22 日、令和７年１月６日、２月 16・24 日 【活動の拡大・連携】 地域の NPO、任意団体、福祉機関との連携を強化し、LD を持つ子どもたちが直面する課題への理解を広げるとともに、流星群の取り組みをより多くの方に認知してもらえるような活動を展開した。

事業の成果・効果	この一年間で、支援者や保護者同士の交流の場を創出し、学習支援の方法や情報提供を行うことで、LD に対する理解を深め、相互支援の充実を図ることができた。 **【ワークショップ】**専門家を招いたワークショップを 2 回開催し、LD の正しい知識や支援方法を学ぶ機会を提供した。参加者の多くは支援者で、保護者の参加は比較的少なかった。アンケート結果では、「子どもの困りごとが理解できた」「支援方法が具体的に学べた」「LD を持つ子どもの気持ちを理解する手助けになった」などの声が寄せられた。 **【つながるカフェ】**「つながるカフェ」と題した保護者の交流の場を提供。これにより、保護者が悩みを共有し、精神的な支えを得る機会を作ることに貢献した。参加者からは「同じ境遇の親とつながることが嬉しかった」「他の保護者の声を聞くことで、自身の気持ちを打ち明けることができた」との声が寄せられ、保護者の孤立感の軽減につながったと感じている。 上記ふたつの活動と流星群の勉強会を通じて、支援者や保護者の声を集め「何に困っているのか」「どのような支援が必要か」の具体例を蓄積した。その結果、学校への合理的配慮を求める保護者が少ないことが判明し、今後の課題として意識啓発に取り組む必要があると考えている。 また、オンラインでの情報提供やピアサポートを求める声も多く寄せられた。しかし、ここで忘れてはならないのは、運営メンバーは現役の子育て世代であり、子どものために奔走する中でも無理なく継続できる活動を模索する必要がある。 総じて、本事業は LD を持つ子どもとその保護者に有益な場・情報を提供し、支援者や地域社会の理解促進にも貢献した。

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた　[2 概ねできた]　3 あまりできなかった　4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4 と答えた場合のみ）
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた （応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた）	[1 できた]　2 概ねできた　3 あまりできなかった　4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4 と答えた場合のみ） 効果を表す指標：① ワークショップの参加者数　② 会への問い合わせ件数 本年度目標値：① 会員数＋新規 2 名⇒10 名　② 2 件 本年度実績値：① 10 名　② 5 件
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ　[2 多少の変更があった]　3 大幅に変更している 主な理由（2、3 と答えた場合のみ） 書籍代：勉強会で使用する本の購入を控えたため。
	その他、評価すべき点等	【SNS 関係】 ・全国 LD 親の会等々の団体と SNS で繋がり、流星群の認知度を上げた 【その他：運営が参加した会議等】 ・令和 6 年 10 月　：NPO 法人エッジのディスレクシア月間 参加 ・令和 6 年 12 月 1 日：みなみ野マルシェ参加（広報/フリマ） ・令和 7 年 2 月 9 日　：協力の作法 参加 ・令和 7 年 2 月 16 日：「夢みる小学校」鑑賞 ・令和 7 年 2 月 22 日：みなみ野会議 参加 ・令和 7 年 3 月 22 日：6 中学校区合同懇親会 参加

※　自己評価の欄は、番号に〇を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	Neuro-DiverCity な地域社会の実現を目指すには一時的な補助金だけで賄えるものではなく、持続可能な運営資金の確保と効果的な広報活動が大きな課題として残っている。しかしワークショップやカフェの運営を通して、広報の手法も徐々に確立されつつあり、今後は SNS を活用した発信にもさらに力を入れていきたい。みなみ野地区に限らず、八王子市内の参加者が自分の地域で「つながるカフェ」を開催できるような場をつくることは新たな気づきとなった。こうした取り組みは流星群だけでは実現が難しいため、今後も行政やさまざまな団体と連携を深めながら、運営メンバー・保護者・参加者のニーズを踏まえ、活動の場を広げていきたい。

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事　業　の　名　称	Neuro-DiverCity八王子：学習障害を持った子供の親たちの地域連携を目指す	
団　　体　　名	みんなの学び流星群from八王子	
項　　目	内 容 ・ 内 訳	決　算　額　(円)
収入の部		
1 市民企画事業補助金(今回使用額)		100,000
2 その他助成金収入		
3 事業による収入（　　）		
4 団体運営費からの繰入金		2,753
5		
6		
合　　計		102,753
支出の部		
1 消耗品費	コピー用紙（2冊）、ファイル、穴あけパンチ、名前シール、マッキー	8,421
2 印刷製本費	ミーティング資料コピー、ワークショップちらし、ワークショップ資料コピー、カフェちらし	12,293
3 謝礼・報酬	【謝礼】ワークショップ講師20,000円×2回、カフェ講師10,000円×2回	64,000
4 会場等・使用料	ミーティング、ワークショップ2回、つながるカフェ2回、（由井市民センターみなみ野分館）	8,350
5 書籍代	書籍代	9,689
6		
7		
8		
9		
10		
合　　計		102,753

※　あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
※　領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

令和６年度（2024 年度）　市民企画事業補助金　交付事業成果報告書

事　業　名	インクルーシブ八王子　心理支援と地域連携を推進する事業		
団　体　名	心理支援サポートぴあ		
事　業　費	181,537 円	補 助 金 額	100,000 円

事業の目的・内容	目的：団体設立初年度の R5 年は１次支援（全ての人）と２次支援（不調を抱えている人）に力を入れ活動をする中でピアカウンセリングは３次支援（具体的な支援策や連携が必要な人）の要望が多いことを実感し団体構成員の有資格者強化を図った。構成員全員が市民活動団体として共通認識を持ち、互いにカンファレンスにより専門性を生かしたアプローチの準備と実施をしていく。このことは迅速に、そして正確・安全にアセスメントをして適切な動きをすることに繋がる。また、団体としての組織力の底上げに繋がる。R6 年度は引き続きワークショップ（以下 WS）とピアカウンセリングの回数は増やさず内容の拡充を図りながら参加者の持つ資源を見出すこと、ウェルビーイング（心・身体・生活環境）を整えることに重点を置く。昨年度の活動で課題となった団体運営費の捻出は新たに市のイベントに計４回参戦することにより、バザーや物販にも挑戦して取り組んでいく。このことは活動内容の周知と団体を身近に感じていただくことに役立つと考える。
	内容：1）心身に大きな不調のないメンタルヘルスに意識を持つ人への自己理解と他者理解の気づきを目的としたワークショップの開催。　2）既に心身不調、生き辛さ、生活に困難を抱え悩む当事者やその家族、関わる人を対象としたピアカウンセリングの実施。（R6 年度はクリニックや関連機関との連携により引きこもりや不登校以外に ASD や精神疾患・障害と包括的に取り組む）必要と判断した時には速やかに適切な機関との連携を持って支援の充実を図る。　3）新たな取り組みとして市のイベント（NPO フェス・古本まつり・いちょう祭り）に参戦することにより団体活動の周知浸透と模擬 WS や相談コーナーを設けることで団体を利用することへのハードルを下げることを意識する。

事業の活動実績	【WS】1 回目 6/30 ビジネスラウンジ（以下 BL）802 参加者 5（参加費 1）2 回目 8/18 BL802 参加者 6（参加費 3）3 回目 10/6NPO フェス内　/4 回目 1/19 BL802　参加者 5（参加費 1） 【ピアカウンセリング】1 回目 4/28 支援センター 参加者 2（参加費 0）/2 回目 7/28 8beat 参加者 1（参加費 0）/3 回目　12/8 8beat 参加者 2（参加費 2）/4 回目 2/16 8beat 参加者 2（参加費 2） 【古本まつり相談会】春 5/4・5 ユーロード福祉ブース　相談 11 名/秋 10/12・13 ユーロード福祉ブース相談 16 名 【NPO フェス】10/6 たま未来メッセ　WS 参加者 33 名 【いちょう祭り】11/16・17 わくわく広場（団体チラシ配布と物販） 【他】①Flash UP★802 ラジオ出演 10/26 収録　②協賛金募り各所訪問 6 企業・団体様　③活動連携先訪問：小さなカウンセリングルーム様・八王子市社会福祉協議会様・はちまる加住様・いとうクリニック様 視覚障がいサポート団体 FANeyes 様・一般社団法人まもりすくん様　④市民企画事業補助金説明会スピーカー

事業の様子または成果がわかる写真①

事業の様子または成果がわかる写真②

事業の成果・効果	【WS】昨年同様、4～6名の参加者で実施する。当日までの準備で役割分担や今後の活動を見据えての参加者の登録方法やアンケートを作成するなど1回のWSをより大切に丁寧に取り組むことができた。また、2回3回と参加申し込みいただいた方や、友人をご紹介いただくなどはご満足の指標となり確かな取り組みとして団体活動の自信に繋がった。 【ピアカウンセリング】個々の申し込みは少なかったが古本まつりの相談からご参加の方や、連携先からのご紹介をいただいたりと少しずつではあるが着実に開催できている。今後は相談会や個別カウンセリングからピアに繋げることでピアカウの強化を検討して挑戦していく。参加いただいた方からのざわざわした心が落ち着き一歩づつ前に進む勇気が持てたとの感想が何より嬉しかった。 【イベント参加】NPOフェス、古本まつり、いちょう祭りと積極的にイベントに参戦し団体周知と個別相談会、模擬WS、などに取り組んだ。また、WSやピアカウで参加費用をいただくことのハードルを少しでもカバーし、団体自立運営に向けての取り組みとして物品販売のバザーや返礼をつけた協賛金を募ることにも挑戦した。協賛金募集訪問は初めての試みで手探りだったにも関わらず、みんな勇気を持って訪問し、市民活動団体は草の根的な広がりが重要だということを学んだ。また協賛金が目標金額を大きく上回ったことは地元八王子で必要とされている活動であることを感じ今後も丁寧に活動をするモチベーションとなった。 【広報】SNSはもちろんのこと、フラッシュアップ802やはちおうじ志民塾で団体についてのお話しをする機会にも恵まれ周知も大きく広がった。八王子NPO会議やチデパに参加することで横の繋がりも大事だと認識を新たにした。 【連携】今回は公的機関や医療機関だけでなく同じ市民活動団体など横の連携にも挑戦した。社協さん、はちまるさんはどこも温かいご対応をいただいた。昨年につづきいとうクリニックさんも快く連携に応じていただいた。新たに一般社団法人まもりすくん様、視覚障害サポート団体FANeyes様、小さなカウンセリングroom様他数軒の連携を広げることができた。今後も双方のお仕事内容や活動内容を正しく理解することに努め連携に役立てていきたい。

自己評価	事業は申請どおり実施できた	(1)できた　2 概ねできた　3 あまりできなかった　4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4と答えた場合のみ）				
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた （応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた）	(1)できた　2 概ねできた　3 あまりできなかった　4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4と答えた場合のみ）				
		効果を表す指標	ワークショップ4回 ピアカウンセリング4回 イベントへの参画による活動4回	本年度目標値	WS4回 ピアカウ4回 イベント4回	本年度実績値	WS4回・ピアカウ4回・イベント4回
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ　(2)多少の変更があった　3 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ） 協賛金を募る活動や、広報活動に広がりができたため。 活動の中で必要となったものの購入など会計に変動があったため。				
	その他、評価すべき点等	設立2年目は1年目の活動を生かして全員で取り組む団結という点が大いに評価できたと思う。有資格であるないに関わらず、団体活動で一番大事なことは人間力であり、実行力であることを学んだ。3年目の自主運営に向けての視点と活動内容のブラッシュアップを常に全員で考えて活動できたことも大きい。				

※　自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	1年目の振り返りで掲げたSNSなどを使った広報や、周知活動を今後も続けていく。連携いただいたところとは変わらず丁寧に関係を築いていく。団体運営の資金調達も2年目の挑戦となるので実行、振り返り、修正を繰り返していく。R7年度は 新たに2名の団体員と数名のご入会をいただいているので新しい強みを生かしながら、今のWSに加えて新しいWSを作成していく。自分たちの足元を固めながら周り共連携を取り、八王子には『ぴあ』があると思っていただけるような団体を「目の前の一人を大切に」作りあげていく。

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事　業　の　名　称	インクルーシブ八王子 心理支援と地域連携を推進する事業	
団　　体　　名	心理支援サポート　ぴあ	
項　　目	内 容 ・ 内 訳	決　算　額　（円）
収入の部		
1 市民企画事業補助金（今回使用額）		100,000
2 その他助成金収入		0
3 事業による収入（　　）	ワーク・カウ（6500）協賛金26000	32,500
4 団体運営費からの繰入金	イベント参加収益　イベント参加費	49,037
5		
6		
合　　計		181,537
支出の部		
1 消耗品費	便利ベルト・クリアポケット　荷造りひも 心理支援サポートぴあプレート　カウンセリング・WSチケットシート 液状のり　領収書・封筒・ポーチ(会計用)　クリアホルダー 養生テープ 封筒　コインケース　八つ切り画用紙 名札ケース＆首掛けひも 水性ペン　ブラックボードポスカ用　カウンセリング・WSチケットシート 色画用紙　トレー　アルミホイル　コピー用紙　プリンタインク代	20,563
2 印刷製本費	チラシ（A4片面）300部　コピー代　名刺印刷代　チラシ両面印刷100部チケット作成用紙（invitationチケット）チラシ 300部　色画用紙	11,509
3 謝礼・報酬		0
4 会場借上料・使用料	WS・ピカウンセリング会場使用料 各3回	30,500
5 交通費		45,178
6 通信費	送料 Tシャツ5枚追加分送料 郵便切手	2,010
7 備品	サポートぴあTシャツ17枚　横断幕　テーブルクロス（WS）　S字フック・ロープ イベント用折りたたみテーブル	71,777
8		
合　　計		181,537

※　あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
※　領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

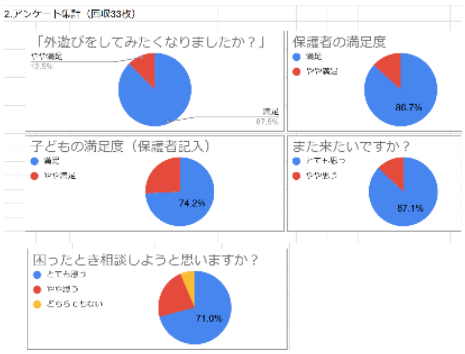
令和６年度（2024 年度）　市民企画事業補助金　交付事業成果報告書

事　業　名	かぷかぷ山のようちえん　「八王子くわっぱ」 ～0 歳からみんなで外遊び・自然遊びしようの会～		
団　体　名	特定非営利活動法人かぷかぷ山のようちえん		
事　業　費	192,231 円	補 助 金 額	96,000 円

事業の目的・内容	目的　①乳幼児向けの自然体験機会の不足の解消 ②豊かな自然の周知・体験機会が乳幼児期において少ないことへの機会創出 ③地域コミュニティの希薄化による乳幼児期の孤立・孤育て解消 ④自然の中であそぶ親子を見守る大人の育成（地域の幼児教育・自然体験に寄与する人材の育成） 効果　①安心して八王子各地の自然を体験する機会を作り、周知に努めます。 ②定期開催でコミュニティをはぐくみ、さらに会の中で地域の助産師・地域の方とつながる機会も作ることで乳幼児親子の孤立・孤育て解消を図ります。 ③自然の中で遊ぶ親子を見守る地域づくりができます。
	内容　0 歳からの乳幼児向けの「外遊び型子育て広場」を 4 回、および「0 歳からの親子自然体験」 6 回の計 10 回の活動を行います。0 歳から気軽に訪れ参加できる陵南公園を拠点とし、様々な自然の中で保育士や子育て経験者、インタープリターが常駐して一緒に遊ぶことで、どんな方でも気軽に自然体験ができるきっかけづくりを行います。また、地域のボランティアを合わせて募集し受け入れ、開催前に見守り方や自然に関することについて簡単な研修・終了後に振り返りの機会を設けることで、自然の中で遊ぶ子供たちを見守る大人の育成も図っていきます。

事業の活動実績

日程	場所	テーマ	講師	目標	実績	達成率	新規参加者	新規参加者率
6/6	陵南	助産師ヨガと生き物探しさんぽ	助産師	24	16	67%	16	100%
7/4	小田野中央公園	インタープリターと春の木の実のお弁当づくり		24	12	50%	10	83%
8/1	こどもキャンプ場	川遊び		24	25	104%	11	44%
9/5	小田野中央公園	インタープリターと秋散歩（くるみ・はっぱ・虫取り）		24	11	46%	2	18%
10/10	陵南	助産師ヨガとさんぽ	助産師	24	30	125%	2	7%
11/6	長沼公園	森のおさんぽ		24	4	17%	2	50%
12	陵南	助産師ヨガとさんぽ	助産師	24	35	146%	24	69%
1/16 →3/24	小宮公園	春さんぽ		24	16	67%	0	0%
2/6	つどいの森	たき火とおさんぽ		24	9	38%	2	22%
3/6	陵南	助産師ヨガとさんぽ	助産師	24	4	17%	2	50%
計				120	162	135%	64	40%



・インフルエンザの流行によるキャンセルが相次いだ 1 月の回を 3 月下旬に延期したが、予定通り全 10 回実施することができた。
・夏の川遊びの回は目標数を超える参加者が集まった。これは、親御さんにとってお子さんとの川遊びは安全面と楽しみ方の 2 点でハードルが高いようで、大人の目が多く遊び相手もいて道具の準備もしっかりした本活動とニーズががっちり合った結果だと考えられる。

事業の成果・効果	事業では、0歳からの乳幼児向けの「外遊び型子育て広場」を4回、および「0歳からの親子自然体験」6回を、雨天も2度ありましたが、会場を室内に変更・日程を延期を行ったことで、予定通り計10回行うことができました。 企画時の想定通り、0歳から気軽に訪れ参加できる陵南公園で初参加後に、さまざまな八王子の自然の中で遊ぶ体験をする方が多く、乳幼児親子が、初心者から八王子の自然を知り親しむきっかけづくりができました。 HPやチラシ、市の広報などを見ての参加に加え、口コミによる評判を聞いて参加してくれる方もいらっしゃり、一度参加した方のリピートも目立ちました。 特に川遊びについては初めての方が多く、「川遊びは親子でほぼ初めての体験」「遊びの達人のお話も聞き2人でも行ける勇気をいただきました」「初めての川遊びすごく楽しかったです。遊び方、楽しみ方もよくわかってもっと外に出て遊ぼうと思う」「2度目の参加ですが、八王子市のこの地域にこんなによい川遊びできる場所があると初めて知りました」などの声があり、初めての場に遊びや自然に親しんだスタッフが同行することで、これからの親子での遊びに前向きになれる体験ができたと思います。森の散策をメインとした回は、冬の寒さもあるかもしれないが、参加者数としては定員を下回ることが多くなりました。ただ、参加した方からは「森の楽しみ方を知れた」「子どもが楽しそうだった」などの感想が聞かれ、自然体験の効果はあったとの実感がありました。次年度は回数を前半に多めに設定し、後半の冬の体験にもつながる方を増やしていきたいと思います。 地域のボランティアを合わせて募集し受け入れ、開催前に見守り方や自然に関することについて簡単な研修・終了後に振り返りの機会を設けることで、自然の中で遊ぶ子供たちを見守る大人の育成も図りました。子育て経験者やシニアの方がボランティアに入ってくださり、抱っこや見守りをお願いすることができました。 子育て支援の場としても、子育てに不安のある方でも気軽に自然体験ができるきっかけづくりができました。きょうだいを連れての参加もあり、「下の子を抱っこしてくださって、上の子と夢中になって遊べてよかった」などの声があり、保育士や子育て経験者、インタープリターがサポートしながら体験する意義をかんじることができました。 アンケートでは、参加した方の満足度は高く、外遊びのおもしろさを知りまた参加してみたい方が9割近くいるので、プログラムとしては想定通り活動できているため、次年度につなげていきたいと思います。

自己評価	事業は申請どおり実施できた	[1できた]　2 概ねできた　3 あまりできなかった　4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4と答えた場合のみ）
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた （応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた）	[1 できた]　2 概ねできた　3 あまりできなかった　4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4と答えた場合のみ） 効果を表す指標：参加人数　アンケートでの「外遊び・自然遊びをもっとしたくなったか」 本年度目標値：120名/年　６０％ 本年度実績値：１６２名　８７．５％
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ　[2 多少の変更があった]　3 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ） 有料の回の参加者が想定よりも少なかったため、支出を減らして対応した。
	その他、評価すべき点等	市内の幼稚園・保育園等の保育者の方などの見学や応援がありました。次年度はぜひ協力しながら地域のひとつの居場所としての開催を続けていきます。

※　自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	来年度は引き続き本事業として実施し、次年度以降有料回の収入と民間の助成金、寄付金等で実施を続けられるよう、予算確保と体制を検討していきます。

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事　業　の　名　称		かぷかぷ山のようちえん　「八王子くわっぱ」 ～0歳からみんなで外遊び・自然遊びしようの会～	
団　　体　　名		特定非営利活動法人かぷかぷ山のようちえん	
項　　目		内 容 ・ 内 訳	決　算　額　（円）
収入の部			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)		144,000
2	その他助成金収入		
3	事業による収入 (参加費　　)	2000円×29組	58,000
4	団体運営費からの繰入金		△ 9,769
5			
合　　計			192, 231
支出の部			
1	消耗品費	①ポスカ 1780円　②テープ550円　③網3561円④画用紙440円⑤タオル・袋1325円　タオル1100円⑦ジッパーファイル　220円　⑧ファーストエイド4560円 ⑨ポイズンリムーバー1900円	15,436
2	印刷製本費	アンケートコピー　10+897+412 チラシ200枚　1700円　チラシ600枚　3870円	6,889
3	謝礼・報酬	①チラシ作成謝金　10000円 ②助産師講師　5000円×3回×1名 ③わらべうた講師 5000円×1回×1名 ④インタープリター講師 5000円×9回×1名 ⑤市民講師 5000円×9回×2名+5000円×1回×1名	155,209
4	会場借上料・使用料	雨天時使用1回分(長房市民センター・3/6)	750
5	交通費		
6	通信費	公園予約申請FAX	150
7	保険料		8,697
8	その他	源泉徴収所得税納付分	5,100
9			
合　　計			192, 231

※　あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
※　領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

令和６年度（2024 年度）　市民企画事業補助金　交付事業成果報告書

事　業　名	はちおうじ市民健康大学―高齢者の健康増進・産後ケア―		
団　体　名	プラチナクラブ		
事　業　費	188,871 円	補 助 金 額	94,000 円

事業の目的・内容	目的 本事業では、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の方に対して健康意識の向上や早期からの障害予防的トレーニングを実践することによる健康寿命の延伸と家や病院、職場と異なる居場所づくりを目的とする。 地域コミュニティの希薄化による閉じこもりの増加や産後の孤立問題、中高年世代の健康問題に対し、はちおうじ市民健康大学事業を通じて、新たな人間関係の構築、基礎体力の維持・向上、健康リテラシーを向上させることで地域課題を解決することができると考える。
	内容 本事業は地域住民が幸せに暮らすために、産後ケア教室や高齢者向けに健康寿命を延ばすための体操を理学療法士、助産師、看護師が中心となり展開する。昨年度に産後ケア事業を実施して、産後のロコモティブシンドローム（産後ロコモ）が認められた。産後ロコモを放置することで腰痛や将来的な変形性関節症に移行することが考えられるため、内容をブラッシュアップさせ実施する。高齢者の健康増進事業では中高年を対象に、理学療法士によるインナーマッスルトレーニングや下肢の筋力強化を目的とした体操教室や体力測定会を実施する。

事業の活動実績	【高齢者事業】12 回を予定していたが部屋の予約が多く取れたため 18 回に増やして実施 延べ参加人数 158 人 開催日及び参加人数 2024 年 4 月（8 名）（10 名）・2024 年 5 月（7 名）・2024 年 6 月（11 名）（7 名）・2024 年 7 月（10 名）・2024 年 8 月（11 名）（9 名）・2024 年 9 月（6 名）（8 名）・2024 年 10 月（7 名）・2024 年 11 月（7 名）・2024 年 12 月（10 名）・2025 年 1 月（7 名）・2025 年 2 月（11 名）（8 名）・2025 年 3 月（10 名）（11 名） 【産後ケア事業】※安全面に配慮するため保育士を 2～3 名配置し保険にも加入して行った。 予定 5 回のところ、3 回実施と地域のマルシェ 2 回参加 産後ケアは延べ参加人数 7 人 各回で産後ロコモ評価を実施

事業の様子または成果がわかる写真①

産後ケア教室の様子

事業の様子または成果がわかる写真②

高齢者事業の様子

事業の成果・効果	【高齢者事業】 参加人数は目標達成し、転倒などの事故もなく安全に実施した。 体操の内容を根拠に基づいてブラッシュアップして実施した。 【産後ケア事業】 人数は目標未到達 要因として申し込み数に対して当日キャンセルが毎回 2～3 件あった。 参加者の半数がロコモに該当した。握力は平均 23kg とスポーツ庁が報告している 30 代女性の平均値 28～29kg を下回る結果となった。転倒歴のある参加者も２名おり、運動後のフィードバックも丁寧に行った。 12 月と 1 月に子ども八王子市と上野原市のマルシェに参加し、子どもの体力測定を実施し、保護者と子どもの運動機能について情報共有を図った。 引き続き定期的に新規募集を行い会員数の増加を図る

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた　[2 概ねできた]　3 あまりできなかった　4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4 と答えた場合のみ） 高齢者事業は部屋の予約が多く取れたため当初よりも増やして実施した。 産後ケアは事故なく予定通り実施できた。				
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた （応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた）	1 できた　[2 概ねできた]　3 あまりできなかった　4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4 と答えた場合のみ） 実施回数も多く開催でき参加者は大きな増減なく安定して確保できていた。SNS を使った広報が効果的であった。				
		効果を表す指標	参加人数	本年度目標値	【高齢者事業】 延べ 135 人 【産後ケア事業】 延べ 8 人	本年度実績値	【高齢者事業】 延べ 158 人 【産後ケア事業】 延べ 7 人
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ　[2 多少の変更があった]　3 大幅に変更している 主な理由（2、3 と答えた場合のみ） 企画していた内容は十分できたと思う。高齢者事業では予定していた講師とのスケジュール調整がつかず未実施であった。次年度に実施予定とする。				
	その他、評価すべき点等					

※　自己評価の欄は、番号に〇を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	現在は有志団体として活動しているが、将来的には法人化して活動を継続していきたい。そのため、多くの専門職と様々な企画を行い人材の確保や集客を行う。価格についてもターゲット層を明確にし、自立運営可能な価格設定にする予定である。

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事　業　の　名　称	はちおうじ市民健康大学―高齢者の健康増進・産後ケア―	
団　　体　　名	プラチナクラブ	
項　　目	内 容 ・ 内 訳	決　算　額　（円）
収入の部		
1 市民企画事業補助金 (今回使用額)		160,000
2 その他助成金収入		
3 事業による収入	参加費:1人500円 【高齢者事業】=79,000 2024年4月（8名）（10名）=9,000 2024年5月（7名）　　=3,500 2024年6月（11名）（7名）=9,000 2024年7月（10名）　　=5,000 2024年8月（11名）（9名）=10,000 2024年9月（6名）（8名）　=7,000 2024年10月（7名）　　=3,500 2024年11月（7名）　　=3,500 2024年12月（10名）　　=5,000 2025年1月（7名）　　=3,500 2025年2月（11名）（8名）=9,500 2025年3月（10名）（11名）=10,500 【産後ケア事業】=3,500 2024年7月（2名）=1,000 2024年9月（2名）=1,000 2025年1月（3名）=1,500	82,500
4 団体運営費からの繰入金		△ 53,629
合　　計		188, 871
支出の部		
1 消耗品費	コピー用紙・インク代・除菌シート	30,095
2 印刷製本費	カラーコピー代	11,000
3 謝礼・報酬	保育士　18,000円	18,000
4 会場借上料・使用料	クリエイトホール レクレーション室　3500円×21回分	73,500
5 交通費		5,440
6 備品購入品	ヨガマット、ジムボール、トレーニングチューブ、 ベビーマット、パネル	31,336
7 駐車場代	高齢者事業、産後ケア物品運搬駐車場代	4,500
8 保険	産後ケア保険代	15,000
合　　計		188, 871

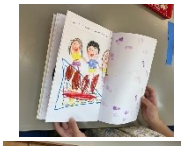
※　あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
※　領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

令和６年度（2024 年度）　市民企画事業補助金　交付事業成果報告書

事　業　名	みんなが本をたのしむあの手この手		
団　体　名	八王子子ども文庫連絡協議会		
事　業　費	112,349 円	補 助 金 額	50,000 円

事業の目的・内容	目的 ・図書館や文庫になじみのない人たちにも本の楽しさを知ってもらう機会を増やし、すべての世代に「読書の楽しみ」を伝えること。 ・子ども文庫の利用者増に勤め、文庫連会員（子どもたちに本を手渡す活動をする仲間）を増やすこと。
	内容 ・お話会…くまざわ書店オクトーレ店とセレオ八王子店（有隣堂書店）で、各年間３回実施。不特定多数の幅広い参加者に向けた内容。文庫の工作品をお土産とする。 ・絵本作家さんとのワークショップ…小学生以上の子どもたちとその保護者を主な対象として募集。大人だけの参加もあり。 ・ビブリオバトル…年齢を問わず募集。 ・イベントごとに文庫連の「おすすめ本リスト」（冊子）を配布する。

事業の活動実績	くまざわ書店お話会 6/29（土）　14 時～14 時 30 分　（子ども６名・大人５名） 10/27（日）14 時～14 時 30 分　（子ども４名・大人３名） 1/25（土）　15 時～15 時 30 分　（子ども５名・大人４名） セレオおはなし会 8/21（水）14 時～15 時　（子ども 17 名・大人 17 名） 12/8（日）14 時～15 時　（子ども 25 名・大人 21 名） 令和７年３月 29 日（土）11 時～11 時 45 分（子ども 10 名・大人 10 名） 絵本ワークショップ 7/20（土）9 時 45 分～12 時　（子ども 10 名・大人 15 名） ビブリオバトル 11/3（日）13 時 30 分～15 時　（大人 13 名）



事業の成果・効果	・セレオおはなし会は、コロナ禍の 2021 年 8 月にスタート。有隣堂書店の協力で年間 3 回の開催を続け少しずつだが観客が増えてきている。本年度スタートのくまざわ書店オクトーレ店お話会も、児童書売り場の片隅という狭いスペースだが継続することで今後の参加者増が期待できる。 ・ワークショップは夏休みのイベントが重なる時期、またビブリオバトルも秋のイベントが多い時期のため集客には苦戦したが、いずれもリピーターがあり、文庫連の活動として定着し、楽しみにして参加してくれる方が増えてきた。 特に、今回のビブリオバトルではくまざわ書店に掲示したポスターを見て参加したという大学生があり、書店との協力の成果といえよう。 ・おはなし会の度に配っているおすすめリストを見て、「子ども文庫ってこんなことやっているんですね」と関心を寄せてくれる人も出てきた。今後の文庫利用者拡大、ひいては文庫連会員（子どもと本をつなぐ活動をする仲間）の拡大につながると思う。

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた　(2 概ねできた)　3 あまりできなかった　4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4 と答えた場合のみ）					
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた （応募申込時に掲げた本年度の目標値を達成することができた）	1 できた　(2 概ねできた)　3 あまりできなかった　4 ほとんどできなかった 主な理由（3、4 と答えた場合のみ）					
		効果を表す指標	全体の参加人数に占める子どもの割合	本年度目標値	30%	本年度実績値	46%
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ　(2 多少の変更があった)　3 大幅に変更している 主な理由（2、3 と答えた場合のみ） 当初購入を予定していた電動ホッチキスでは綴じる枚数に限界があり、講師より「これでは使えない」と言われたため。					
	その他、評価すべき点等	書店との連携が効果的だった。					

※　自己評価の欄は、番号に〇を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	現在の文庫連では現状を維持することで精いっぱいだが、イベントの準備や実際の運営が個々の文庫の学びにもつながっているので、継続して行っていきたい。今回、ビブリオバトルに図書館員さんの参加を得られなかった（これまでは継続して参加してくれていたが）ので、今後も働きかけを続けたい。私たちのような市民団体と民間の書店、そして公共図書館がもっと密接に協力していかれると良いと考える。

市民企画事業補助金交付事業収支決算書

事　業　の　名　称		みんなが本をたのしむあの手この手	
団　　体　　名		八王子子ども文庫連絡協議会	
項　　目		内 容 ・ 内 訳	決　算　額　（円）
収入の部			
1	市民企画事業補助金 (今回使用額)		50,000
2	その他助成金収入		
3	事業による収入	ワークショップ参加費（材料費として） 大人￥500×8名、子ども￥100×10名	5,000
4	団体運営費からの繰入金		57,349
5			
6			
合　　計			112, 349
支出の部			
1	消耗品費	お話会お土産工作材料とワークショップ材料（9,130円） 純正インク（3762円）、コピー用紙（493円）	13,385
2	印刷製本費	チラシ印刷　プリントパック2回(ワークショップ;1,895円/ビブリオバトル;1,865円)	3,760
3	謝礼・報酬	こばようこさん、おだしんいちろうさん　各15,000円 五十嵐さん　5,000円 人形劇団くるる　一回の公演に10,000円×3回	65,800
4	会場借上料・使用料		
5	交通費		25,604
6	駐車場代	物品運搬等駐車場代	3,800
7			
8			
9			
10			
合　　計			112, 349

※　あらかじめ記載してある項目以外に、事業に関わるものがあれば全て記載してください。
※　領収書等、事業に関わる支払を証明する書類の写しを必ず添付してください。

5 交付団体一覧

区分	団　体　名	代表者名	八王子コミュニティ活動応援サイト「はちコミねっと」リンク
A 活動支援部門	八王子ヨーヨーの会	中村　亨	https://hachikomi.genki365.net/group_562/
	高尾こてんぐの会	川上　麻結	https://hachikomi.genki365.net/group_668/
	TOKYO八王子名山選定プロジェクト実行委員会	佐野　聖文	https://hachikomi.genki365.net/group_595/
	南大沢認定栄養ケア・ステーション	野田　章子	https://hachikomi.genki365.net/group_669/
	kosodate802(コソダテハチマルニ)	藤本　沙織	https://hachikomi.genki365.net/G0000509/
	みんなの学び流星群from八王子	佐藤　志穂	https://hachikomi.genki365.net/group_658/
	心理支援サポート　ぴあ	羽田　冨貴子	https://hachikomi.genki365.net/group_530/
B 事業実施部門	特定非営利活動法人かぷかぷ山のようちえん	小川　佳那恵	https://hachikomi.genki365.net/group_619/
	プラチナクラブ	須藤　大輔	https://hachikomi.genki365.net/group_666/
	八王子子ども文庫連絡協議会	大橋　道代	https://hachikomi.genki365.net/group_643/

令和6年度(2024年度)交付

市民企画事業補助金
成果報告書

令和７年（2025 年）８月発行

発　行　　八王子市
編　集　　市民活動推進部協働推進課

所　在　〒192－8501　八王子市元本郷町三丁目 24 番１号
電　話　042－620－7401　ＦＡＸ　042－626－0253
e-mail　b050700@city.hachioji.tokyo.jp
ＵＲＬ　https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/shimin/001/003/index.html